

授業概要

本講義では、日本経済の歴史について、特に第二次世界大戦後から現代までを概観する。とりわけ①戦後改革、②高度経済成長、③バブル崩壊、④長期停滞下における日本型企業システムの転換について講義する。必要に応じて、内容に関連する映像資料も利用して講義を進める。

授業計画

| | |
|--------|--|
| 第 1 回 | イントロダクション・全体の概要と目的を述べるとともに、授業内容について解説する。 |
| 第 2 回 | 戦後経済改革と復興 |
| 第 3 回 | 高度経済成長のメカニズム①：高度経済成長の概説、産業政策の効果 |
| 第 4 回 | 高度経済成長のメカニズム②：メインバンクシステム、株主安定化 |
| 第 5 回 | 高度経済成長のメカニズム③：大量消費社会の出現とエネルギー革命 |
| 第 6 回 | 石油危機と安定成長への転換①：石油危機と安定成長の概説 |
| 第 7 回 | 石油危機と安定成長への転換②：赤字国債、自動車産業 |
| 第 8 回 | 石油危機と安定成長への転換③：下請制、日本の国際競争力 |
| 第 9 回 | バブルの形成と崩壊①：バブル経済の概説 |
| 第 10 回 | バブルの形成と崩壊②：債券大国日本、金融自由化と金融ビッグバン |
| 第 11 回 | バブルの形成と崩壊③：トヨタ生産システム、流通革命 |
| 第 12 回 | 長期停滞と日本型企業システムの転換①：概説、財政赤字の深刻化 |
| 第 13 回 | 長期停滞と日本型企業システムの転換②：東アジア経済の成長、新たなビジネスモデル |
| 第 14 回 | 長期停滞と日本型企業システムの転換③：流通再編と情報化、企業制度改革 |
| 第 15 回 | 長期停滞と日本型企業システムの転換④：日本型企業システムの転換 |
| 第 16 回 | 筆記試験 |

到達目標

- 日本の経済史について理解できる。
- 今後の日本経済のあり方について、学生一人ひとりが自身の考えを持つことができる。

履修上の注意

1. 講義内容や授業全体に関わる重要事項を第 1 回目に説明する。単位認定に関わるので、必ず第 1 回目の授業に出席すること。
2. やむを得ない欠席は「履修にてびき」に記載の手続きをすること。
3. 公共交通機関の遅延などのやむを得ない場合を除き、授業開始から 15 分以降の入室は、欠席として扱う。

予習・復習

予習：各回の講義で予定されているテーマについて、事前に書籍やウェブサイトで情報収集すること。また、新聞・ウェブサイトで取り上げられている日本経済に関する記事をよく読むこと。
復習：配布した参考資料を読み、授業時に示す課題について回答レポートを作成すること。

評価方法

筆記試験 70%、授業後の回答レポートの提出状況 30%

テキスト

特に使用しない。必要に応じて適宜指示する。